



学校
通信

みなみ

伊勢崎市立南小学校
第16号
令和6年11月1日(金)

3年生校外学習 サンデンフォレスト、歴史民俗資料館、消防署

10月24日(木)、3年生が校外学習を行いました。午前中はサンデンフォレストで自動販売機の学習をして、昼食をとりました。午後は歴史民俗資料館で昭和の暮らしの見学と石臼、黒電話、糸車の体験をしました。その後、消防署では施設と訓練の様子を見学をして帰ってきました。



サンデン
フォレスト



黒電話の体験

歴史民俗資料館



昭和の暮らしの見学



石臼の体験



糸車の体験



消防署見学



応急手当を学ぼう

「あなたにもできる」 「あなたにしかできない」

10月25日(金)に5、6年生を対象として、救急救命の講習会を実施しました。救急救命士や看護師から構成される「群馬PUSH」の方を講師として、突然人が倒れたときや人が倒れているところに遭遇したときの対処について学びました。

心臓に起因して倒れて、そのまま亡くなってしまうことが、年間7万件もあるとのこと(1日およそ200件)。その際、救急車が到着するまでに近くの人が胸骨圧迫(心臓マッサージ)をしたりAEDなどを使用したりすると、命をつなぐ確率は4倍になるそうです。

●そんな場面に遭遇したら・・・●

- 1 声をかけ(大丈夫ですか)、意識や呼吸の確認
→意識がない、呼吸が不自然
- 2 近くの人に救急車の依頼とAEDをお願いする
- 3 直ちに胸骨圧迫を開始する
場所は肋骨の縦の骨の下から1/3くらい、
5cm程度押し込む、
一定の速さ
- 4 AEDが到着したら中にある図を参考にパッドを装着して電源を入れる
するとAEDがしゃべり出します。その後はAEDの指示に従って、胸骨圧迫を続けるか、電気ショックをします。
(救急車が到着するまで)



大切なことは、**勇気を出して1歩踏み出すこと**だそうです。



多くの施設では、AEDが設置されるようになりました。本校でも職員玄関の所にAEDを設置しています。万が一、休日の社会体育などでの緊急時にも活用できるようになっています。

AED

← 職員玄関

一口メモ

今回の講演で、改めて確認できたのは、胸骨圧迫と電気ショックは、それぞれ目的が違うことです。(下図参照)

1分間に80~100回、一定のリズムで心臓の上を押すことで、血液を体中に送るようになる

胸骨圧迫

心臓がけいれんを起こして正常に血液を送れない(心室細動)

電気ショックを与えることで、瞬間的にけいれんを止め、その後正常な鼓動が再開できるようにする

電気ショック

